

## ■ 委員長報告概要 ■

		令和元年 3 月定例会
		民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 3 号 令和元年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 回）について	
概 要	今回の補正は、決算を見込み調整するもので、歳入歳出とも 2 億 1,934 万 8,000 円を減額し、予算総額を 74 億 2,774 万 6,000 円とするもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 一人当たり医療費は当初見込んでいたほど伸びなかった。</li> <li>* 出産一時金は当初 40 件だったが、35 件程度になる見込み。</li> <li>* 特定健診の受診率は 36.2% の見込み（平成 30 年度 35.6%）</li> <li>* 1 月末の現年分収納率は 71.62% で平成 27 年度以降上昇傾向。</li> <li>* 基金は保険料率の安定に主眼を置きながら医療費削減につながる保健事業にも積極的に活用したい。</li> <li>* 基金は療養費の 5% 程度 3 億円ぐらいが目安だが、あまり取り崩すと保険料の値上げを考えないといけなくなる。</li> </ul>	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	

議 案 件 名	議案第 4 号 令和元年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第 4 回）について	
概 要	今回の補正は、平成 29 年度の地域支援事業費の精算に伴うもので、歳入歳出とも 3 万 3,000 円を増額し、予算総額を 67 億 5,319 万 9,000 円とするもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	* 事業費の精算に伴い償還金を増額。	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	

令和元年3月定例会

民生福祉常任委員会

議案件名	議案第5号 令和元年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）について
概要	今回の補正は、決算を見込んで調整するもので、歳入歳出とも1,288万6,000円を増額し、予算総額を10億7,076万9,000円とするもの
論点又は質疑によって明らかになった事項	* 決算を見込み後期高齢者医療広域連合納付金を増額。
討論	討論なし
結果	全員賛成で可決

議案件名	議案第7号 令和元年度山陽小野田市病院事業会計補正予算（第2回）について
概要	今回の補正は、入院患者数を一日平均183人から9人減の174人に、外来患者数を一日平均416人から3人増の419人に改めるなど、決算を見込み調整したもの。また、特別利益として一般会計から基準外の繰入金を3億円増額し、この結果、税抜き損益計算では6,051万9,000円の単年度純利益とするもの。
論点又は質疑によって明らかになった事項	* 入院患者減の要因は、10連休と気候が良いことが影響。常勤医師の減少により引き受けられる患者数も減少している。 * 繰入金は全額一時借入金の返済に利用する。 * 一時借入金の上限5億円を超えることはできない。 * 材料費等についての値引き交渉は普段から行っている。 * 資金不足の資料として収支計画書を提出し、構造的な改善を図って収益を上げていくということで協議をすすめた。 * 1病棟（55床）を地域包括ケア病棟に移行する。
討論	討論なし
結果	全員賛成で可決

## ■ 委員長報告概要 ■

		令和 2 年 3 月定例会
		産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第 2 号 令和元年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算（第 2 回）について	
概 要	<p>今回の補正は、決算を見込んでの調整で歳入歳出とも 350 万円を増額し、歳入歳出予算総額を 3,153 万 1,000 円とするものである。歳入については 1 款 1 項 1 目駐車場使用料 350 万円を増額し、歳出では 2 款 1 項 1 目予備費 350 万円を増額するものである。</p>	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>「使用料見込みの根拠は」との問いに「定期駐車券は 25 から 30 件程度で見込み、駐車場全体の使用料は昨年度同時期に比べ、1 日平均で約 12 台増えていることから計算した」との答弁。</p> <p>「今後、料金値下げの考えはあるか」との問いに「令和 2 年度に未整備部分について舗装工事、フェンスの改修、駐車枠の設置などを予定しており、料金改定についてはその後に考えていきたい」との答弁。</p>	
討 論	なし	
結 果	全員賛成で可決	

		令和 2 年 3 月定例会
		産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第 6 号 令和元年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第 5 回）について	
概 要	<p>今回の補正は、インターネット投票業務委託料などの調整とスタンド改修に伴う設計委託料の増額、ミッドナイトレース関連予算の調整で、歳入歳出とも 1,190 万 2,000 円を追加し、予算総額を 136 億 8,979 万 7,000 円とするものである。歳出について 1 款 2 項 1 目事業費は民間ポータルサイトの売上が大きく伸びていることからインターネット投票業務委託料を 2 億円増</p>	

	<p>額する一方、専用場外や場間場外での売上が伸び悩んでおり、場外発売運営委託料と場外発売事務協力費を減額するため、事業費全体での増減はない。1款6目13節委託料1,070万2,000円の増額はスタンド改修に伴う専用機器類の移設に係る工事費を調査し、設計額に算入しようとするもの。15節工事請負費477万円の減額は競走車を一時的に保管する倉庫の建設用地を令和2年度の予算で購入することから一旦減額するもの。歳入では2款1項1目山陽小型自動車競走場施設改善基金繰入金を1,190万2,000円増額している。これにより、今年度末の予算上の基金残額見込みは5億1,335万2,000円となる。なお、繰越明許費4,800万円はスタンド改修に関する設計委託料について、年度内の完成が厳しい状況から関連予算を繰越すものである。</p>
<p>論点又は質疑 によって明らか になった事項</p>	<p>「場外発売所は何箇所あるか」との問いに「場間場外が山陽場以外の4場、専用場外が32場で、そのうち2場は山陽小野田市が管理している」との答弁。</p> <p>「競走車の保管倉庫の減額の理由は」との問いに「当初の予定地は試走路の一部に掛かるため、安全面を考慮し適地を選定し直したことによる」との答弁。</p> <p>「インターネット投票業務委託料2億円の根拠は」との問いに「前年度比で民間ポータルでの売上げが40%増で日数が20%増であることから積算した」との答弁。</p> <p>「民間ポータル3社へ支払う金額は」との問いに「3社で異なるが売上げの12%から13%台の間で支払う契約である」との答弁。</p> <p>「新型コロナウイルスの影響による減収予測は」との問いに「山陽場においては、昨日の若獅子杯優勝戦をもって今年度の本場開催が最後で、残されているのは3月上旬のミッドナイトレースの4日間のみで最終的に影響はないと見ている」との答弁。</p>
<p>討 論</p>	<p>なし</p>
<p>結 果</p>	<p>全員賛成で可決</p>

議 案 件 名	議案第 8 号 令和元年度山陽小野田市水道事業会計補正予算 (第 1 回) について
概 要	<p>今回の補正は収入面では給水収益、支出面では主に建設改良費、職員給与等の諸経費について決算を見込んでの調整である。収益的収入では給水収益を平成 30 年度決算値と比較して 98.1%程度の 12 億 9,241 万 7,000 円に下方修正し、受託工事収益は移設工事の一部延期による減額があり、収入合計は税込みで 1,923 万円減の 15 億 3,034 万 1,000 円とした。支出では人事院勧告に伴う昇給と期末勤勉手当の増加や管理職 2 名の増加による人件費の増などがあるものの、修繕費で予定していたポンプのオーバーホールが不要になったこと、動力費で使用電力量の減少や燃料調達費の下落など費用全体を大きく減額したことにより、支出合計は 2,484 万 4,000 円減の 13 億 7,876 万 1,000 円とした。これにより当年度純利益は税抜きで 1 億 1,006 万 8,000 円を予定している。資本的収支で、支出では建設改良費について工事の延期、入札減等により、支出合計は 9,707 万 4,000 円減の 8 億 2,707 万 3,000 円となる。収入については、企業債借入や一般会計からの負担金等の減額により収入合計は 2 億 3,632 万 7,000 円となる。この結果による資金不足額 6 億 1,694 万 6,000 円については損益勘定留保資金だけでは不足するので減債積立金等を取り崩して補填する。なお、企業債残額は 48 億 7,795 万 6,000 円、内部留保資金は 6 億 7,513 万 2,000 円となる。</p>
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>「有収水量がかなり減っている原因は」との問いに「一般的な使用水量の減少に加えて、海外情勢の不安定による輸出関連の生産等が減少している影響を市内企業も受けていると聞いている」との答弁。</p> <p>「他会計負担金で一般会計から入っている 276 万 2,000 円の増</p>

	<p>額の原因は」との問いに「簡易水道を上水道に統合する変更認可届を厚生労働省に出すための資料の作成業務を当初は資本的収支の方で見込んでいたが、収益的収支の会計に入れたことによる」との答弁。</p> <p>「簡易水道を上水につなぐのは広域化を見込んでのことか」との問いに「広域化もあるが、鋳物師屋地区の水源でもある井戸が水量と水質面で不安定になってきたのでその解消も考慮してのこと」との答弁。</p> <p>「薬品費の減額は入札減だけか」との問いに「平成 30 年度から宇部市と共同購入していることから、入札参加業者が増えたこともあるが、全国的に薬品費の単価が下がってきていることがこの結果になっている」との答弁。</p> <p>「どの部署の管理職が 2 名増えたのか」との問いに「管理者をトップに総務課、業務課、工務課、浄水課があるが、工務課の課長補佐が工務課技監になったものと鴨庄浄水場の場長が課長級になったもの」との答弁。</p>
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

令和 2 年 3 月定例会
産業建設常任委員会

議 案 件 名	議案第 9 号 令和元年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第 1 回）について
概 要	<p>今回の補正は、収入及び諸経費について決算を見込んでの調整である。収益的収支の収入では給水収益について、前年度の濁水により長期間にわたる節水から企業局より減免があり、工業用水を利用している 3 社に対しても料金を減免したことなどから、収入合計は 637 万 3,000 円減額し 3 億 8,887 万円としている。支出では、昇給など人件費の増はあるものの、修繕費、動力費、受水費、負担金などの減少から支出合計は 1,834 万</p>

	7,000 円減の 2 億 2,242 万 6,000 円としている。なお、税処理後の当年度純利益は 6,533 万 2,000 円の予定である。次に、資本的収支の収入では病院会計からの貸付金償還金 6,600 万円のみである。支出では建設改良費を若干調整し、100 万円を減額し支出合計は 2,495 万 1,000 円としている。なお、前年度繰越事業費 2,700 万円あまりを加えた収支不足額 5,248 万 4,000 円が補填すべき額となり、損益勘定留保資金や減債積立金を取り崩して補填することとした。今年度末の企業債残高は 1 億 4,003 万 6,000 円、内部留保資金は 6 億 5,911 万 4,000 円となる見込みである。
論点又は質疑 によって明らか になった事項	「病院会計への貸付金はあと何年で終わるのか」との問いに「今回を入れて 3 回、令和 3 年度までである」との答弁。 「特殊勤務手当にはどんなものがあるか」との問いに「外勤、集金、危険、交替制勤務、緊急呼出の手当がある。全国的にはこのような手当は減ってきているが、手当額は県内で大体横並びである」との答弁。
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

令和 2 年 3 月定例会
産業建設常任委員会

議 案 件 名	議案第 10 号 令和元年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算（第 3 回）について
概 要	今回の補正は、公営企業会計開始時の固定資産の確定や引継ぎ金の精算等に伴う所要額についてのものである。収益的収支については、収入総額である下水道事業収益は支出の財源となる一般会計負担金等を 3,329 万 9,000 円増額し、収入総額を 18 億 6,908 万 5,000 円とするもの。また支出総額である下水道事業費用は減価償却費や特別損失を 3,329 万 3,000 円増額し、支出総額を 18 億 3,488 万 3,000 円とするもの。資本的収入について

	<p>ては、一般会計出資金を 4,489 万 4,000 円減額し、収入総額を 16 億 5,127 万 1,000 円とするものである。</p>
<p>論点又は質疑 によって明らか になった事項</p>	<p>「雨水処理負担金については汚水と雨水を含むか」との問いに「雨水公費、汚水私費の原則があるが、下水道は汚水も雨水も排除する機能があり、本来、一般会計が負担すべきものも含んでいるので、雨水処理負担金ということで基準内繰入れとして整理している」との答弁。</p> <p>「高千帆地区で公共下水道事業による雨水対策の実現性は」との問いに「雨水対策に対する新しいメニューができたので以前より条件は緩和されているが、全体計画の見直しを来年度行う予定なので考えてみたい」との答弁。</p> <p>「小野田西地区農業集排の公共下水への接続の予定は」との問いに「令和 2 年度中には公共下水完了の予定である」との答弁。</p> <p>「企業債残額が約 170 億円あるが、今後の推移をどう考えているか」との問いに「今の状況が続けば、毎年約 5 億円ずつ企業債残額が減ることになる」との答弁。</p>
<p>討 論</p>	<p>なし</p>
<p>結 果</p>	<p>全員賛成で可決</p>

## ■委員長報告概要■

	令和2年3月定例会
	一般会計予算決算常任委員会
議案件名	議案第1号 令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算(第7回)について
概 要	今回の補正は、病院事業会計への繰出金、小・中学校情報通信ネットワーク等整備事業、決算を見込んだ事業費の精算等の取り急ぎ措置すべき案件についての補正で、歳入歳出とも4億8,637万9,000円を増額し、予算総額を317億9,524万2,000円とするもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p><b>【病院事業会計への繰出金】</b></p> <p>入院患者の減少と薬剤費が大幅に増額したことによる資金不足解消のため3億円を繰出しするもの</p> <p>(主な質疑)</p> <p>「3億円の繰出金についてどのような協議をしてきたのか」との質問に「収支計画や改善計画を示し協議をされてきた」との答弁。</p> <p>「薬剤費の高騰に対して、どのような改善努力をしてきたのか」との質問に「主に抗がん剤等が高額になっており、担当職員が業者と更なる交渉(値引き)していくとのこと。議会においても、いかに薬剤費と材料費を落として効率的な医療を提供できるかを研究したい」との答弁。</p>
討 論	反対討論あり
結 果	賛成多数で可決

議案件名	承認第1号 令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算(第6回)に関する専決処分について
概 要	今回の補正は、ふるさと納税について、12月末時点で当初予算額を上回る申込みがあったことに伴い、返礼品の発注等を行うため、早急な予算措置が必要となり、歳入歳出とも2,339万4,000円を増額し、予算総額は313億886万3,000円とする専決処分を行ったもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄附金が増えた要因は、サイトを二つに増やしたことと、返礼品のバリエーションを増やしたことなど。</li> <li>・616万1,000円が主にサイト手数料である。</li> <li>・自主財源の確保と産業振興にいいので今後もやっていくとのこと。</li> </ul>
討 論	なし
結 果	全員賛成で承認

## ■ 委員長報告概要 ■

		令和 2 年 3 月 定例会
		山口東京理科大学調査特別委員会
議 案 件 名	議案第 43 号 公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学定款の変更について	
概 要	<p>変更の内容は、現行の定款では、理事長及び理事の任期は 6 年で、再任された場合の任期も 6 年となっているが、変更により、理事長の任期を 4 年、再任後の任期を 2 年とし、理事の任期は 2 年、再任後の任期を 2 年とするもの。</p> <p>変更の理由は、現行の 6 年では同じ役員が 12 年間にわたり公立大学法人の運営に携わることとなり、公立大学法人のガバナンス上好ましくないものとの考えたため。</p>	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>* 再任の回数は決めていない</p> <p>* 議会の議決を経た後、山口県知事に認可申請を行う</p>	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	